

Press release

ボッシュ、持ち株比率の引き上げにより Ceres Power 社との戦略的パートナーシップを強化

2020年1月22日
PI 11088 EMR/af

- ▶ ボッシュは燃料電池のエキスパート Ceres Power 社の持ち株比率を約 18%へ引き上げ
- ▶ 新株の引き受けと既存株式の購入により実現
- ▶ 順調に進んでいるパートナーシップをさらに強化

シュトゥットガルト(ドイツ)、ホーシャム(イギリス)– ボッシュは本日 2020年1月22日付けで、Ceres Power 社の持ち株比率を 3.9%から約 18%に引き上げました。この持ち株比率の引き上げは、ボッシュによる Ceres Power 社の新株の引き受けと、既存株主からの株式の買い増しによるものです。ボッシュの出資総額は、およそ 9,000 万ユーロとなります。ボッシュは戦略的出資とパートナーシップの強化に向け、取引条件に基づき Ceres Power 社の取締役会に社外取締役を任命する権利を有しています。

2018年8月に戦略的パートナーシップを締結して以来、ボッシュと Ceres 社は、定置用の燃料電池スタックの開発における協働を成功させてきました。これによりボッシュは、2019年秋にドイツにおいて、燃料電池システムのパイロット生産を開始するに至りました。今回の持ち株比率引き上げは、都市、工場、データセンターおよび電気自動車用充電ステーションなどで使用される小規模発電所などの多様な用途に向けて、今後見込まれる Ceres SteelCell®の容量拡大と量産化に向けてさらなる協働を進めることを目的としています。

「ボッシュは、高効率の固体酸化物形燃料電池(SOFC)がエネルギーシステムの供給保証と柔軟性において重要な役割を担うと確信しています」と、エネルギー・ビルディングテクノロジー事業セクターを担当するボッシュ取締役会メンバーのクリスチアン・フィッシャーは述べています。「ボッシュは開発パートナーの Ceres Power 社とともに、定置発電用途向け燃料電池スタックの開発を順調に進めてきました。今回の Ceres Power 社への出資拡大により、私たちは Ceres Power 社とさらなる協働を図ります。」

「私たちは、気候変動への対処や将来的な持続可能なエネルギーシステムの構築において、より重要な役割を果たしたいと考えています。そのなかで、私たちの継続的な技術発展を支援する今回のボッシュの追加出資を、大変喜ばしく受け止めています。これまで、当社独自の SteelCell®技術に、ボッシュのエンジニアリング、製造およびサプライチェーンの強みを組み合わせることで、ボッシュとの協働を成功させてきました。今回の追加出資により、私たちがここ数年で生み出した力強い勢いを基礎として、事業規模のさらなる拡大と新たな用途への進出が可能となるでしょう」と、Ceres Power 社 CEO の Phil Caldwell 氏は述べています。

Ceres Power 社は、次世代 SOFC 技術の開発における中心的存在です。その戦略は、パートナーへの量産のライセンス供与を通じて自らの技術を商品化し、グリッドベースの分散型電源に使用することです。Ceres Power 社の取締役会では、同社の技術の適用範囲を拡大することは株主にとって大きな将来価値があると考えており、ボッシュとの関係強化を進めています。両社は今回の取引がパートナーシップへの真摯な取り組みを実証していると確信しています。

報道用画像: #1453365; #1453366

ロバート・ボッシュ GmbH の報道関係対応窓口:

Doerthe Warnk,

電話: +49 711 811-55508

世界のボッシュ・グループ概要

ボッシュ・グループは、グローバル規模で革新のテクノロジーとサービスを提供するリーディングカンパニーです。2018 年の従業員数は約 41 万人 (2018 年 12 月 31 日現在)、決算報告での売上高は 785 億ユーロ (約 10 兆円*) を計上しています。現在、事業はモビリティソリューションズ、産業機器テクノロジー、消費財、エネルギー・ビルディングテクノロジーの 4 事業セクター体制で運営しています。ボッシュは IoT テクノロジーのリーディングカンパニーとして、スマートホーム、スマートシティ、コネクテッドモビリティ、さらにコネクテッドインダストリーに関する革新的なソリューションを提供しています。ボッシュはセンサー技術、ソフトウェア、サービスに関する豊富な専門知識と「Bosch IoT cloud」を活かし、さまざまな分野にまたがるネットワークソリューションをワンストップでお客様に提供することができます。ボッシュ・グループはコネクテッドライフに向けたイノベーションの提供を戦略的な目標に定め、革新的で人々を魅了する全製品とサービスを通じて生活の質の向上に貢献します。つまり、ボッシュはコーポレートスローガンである「Invented for life」人と社会に役立つ革新のテクノロジーを生み出していきます。ボッシュ・グループは、ロバート・ボッシュ GmbH とその子会社 440 社、世界約 60 カ国にあるドイツ国外の現地法人で構成されており、販売/サービスパートナーを含むグローバルな製造・エンジニアリング・販売ネットワークは世界中のほぼすべての国々を網羅しています。ボッシュの未来の成長のための基盤は技術革新力であり、世界 130 の拠点で約 6 万 8,700 人の従業員が研究開発に携わっています。

ボッシュの起源は、1886 年にロバート・ボッシュ (1861 ~ 1942 年) がシュトゥットガルトに設立した「精密機械と電気技術作業場」に遡ります。ロバート・ボッシュ GmbH の独自の株主構造は、ボッシュ・グループの企業としての自立性を保証するものであり、ボッシュは長期的な視野に立った経営を行い、将来の成長を確保する重要な先行投資を積極的に行うことができます。ロバート・ボッシュ GmbH の株式資本の 92% は慈善団体であるロバート・ボッシュ財団が保有しています。議決権の大半はロバート・ボッシュ工業信託合資会社が保有し、株主の事業機能を担っており、残りの株式は創業家であるボッシュ家とロバート・ボッシュ GmbH が保有しています。

*2018 年の為替平均レート: 1 ユーロ = 130.92534 円

さらに詳しい情報は以下を参照してください。

www.bosch.com ボッシュ・グローバル・ウェブサイト (英語)

www.bosch-press.com ボッシュ・メディア・サービス (英語)

<https://twitter.com/BoschPresse> ボッシュ・メディア 公式ツイッター (ドイツ語)

www.bosch.co.jp/ ボッシュ・ジャパン 公式ウェブサイト (日本語)

<https://twitter.com/BoschJapan> ボッシュ・ジャパン 公式ツイッター (日本語)

<https://www.facebook.com/bosch.co.jp> ボッシュ・ジャパン 公式フェイスブック (日本語)

<https://www.youtube.com/boschjp> ボッシュ・ジャパン 公式 YouTube (日本語)

Ceres Power 社の報道関係対応窓口:

Elizabeth Skerritt

電話: +44 (0)1403 273 463

Ceres 社 (<http://www.cerespower.com/>) は、低コストでの次世代固体酸化物形燃料電池(SOFC)技術の開発で世界をリードしています。同社は、資産を最小限に抑えるライセンス供与モデルによって、中国の Weichai、ドイツのボッシュ、日本の三浦工業株式会社、韓国の Doosan といった、世界の大手エンジニアリング・技術企業とのパートナーシップを確立し、運輸、産業、データセンター、日常生活における気候変動と大気環境の問題に対処するシステムと製品を開発してきました。Ceres 社はロンドン証券取引所(LSE)の AIM 市場(AIM:CWR)に上場しており、事業活動の50%以上がグリーン経済によるものであることを認定するLSE Green Economy Mark に分類されています。